

戦評用紙

平成 27年度

北河内地区 新人大会

27年 12月 19日 時刻11:10

男子 【準決勝】

桜丘	65	{	14-2 19-10 21-7 11-18	}	37	長尾西
----	----	---	--------------------------------	---	----	-----

第1PD 白④⑤⑥⑦⑧, 青⑤⑥⑦⑧⑨でスタート。

両チームともハーフコートマンツーマンディフェンス。白は⑥のミドルシュートから

堅い守りでペースをつかむ。リバウンド、スティールから速攻を繰り返し、得点を重ねる。

青は白のディフェンスを崩せず、14-2で1クォーターを終える。

第2PD 白④⑤⑦⑩⑫, 青④⑤⑥⑦⑨でスタート。

青のハーフコートマンツーマンに対して、白は前からボールを奪い、プレッシャーをかける。

スクリーンプレイも確実に決め、点差が広がる。青はタイムアウト後、⑩⑧⑦がたて続けに得点し、19-10で2クォーターを終える。

第3PD 白④⑤⑥⑦⑧, 青⑤⑥⑦⑧⑨でスタート。

白はディナイディフェンスを激しくし、ボールにプレッシャーをかける。

インサイド、アウトサイド共に、確実にシュートを決めていく。青は、⑦、④を中心に攻めるが、

中々ディフェンスをくずせず21-7で3クォーターを終える。

第4PD 白⑦⑧⑫⑮⑱, 青④⑤⑥⑦⑪でスタート。

白はマンツーマン、青は前からプレッシャーをかけていく。序盤は白の⑦がスクリーンプレイ、

カットプレーで得点を重ねるが、終盤に近づくにともない、青は⑤⑦が積極的にリングに向かい、

流れをつかむが、一步及ばず試合終了となる。

(戦評/四條畷中学校:太田)

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 新人大会

27年 12月 19日 時刻11:10

男子 【準決勝】

住道	44	{ 13-21 5-20 12-12 14-22 }	75	杉
----	----	-------------------------------------	----	---

第1PD

白④⑤⑥⑧⑩、黒④⑤⑥⑦⑧

両者オールコートマンツースで、ディフェンスのプレッシャーがきびしく、オフェンスのリズムがなかなかつけれない。しかし、住道はターンオーバーから速攻を確実に決め、一方杉はフリースローやミドルシュートから応戦。タイムアウトから両者ともに2番のディフェンスの意識を高めるが、オフェンスのペースがつかめない。

第2PD

白④⑤⑥⑧⑩、黒④⑥⑦⑧⑪

1ピリオド同様、両者オールコートマンツースのディフェンスでスタート。住道は1対1ではファウルが多く、杉は確実にフリースローを決める。住道はタイムアウトから3ポイントを狙うが、決まらない。杉は⑩の3ポイントから少しずつペースをつかむ。住道はオールコートゾーンディフェンスで流れを変えようとするが、シュートが決まらない。

第3PD

白④⑤⑥⑧⑩、黒④⑤⑥⑦⑧

住道はオフェンスの形をつくるがタイミングが合わず、インサイドがつかえない。一方、杉は前半からプレッシャーをかけ、インターセプトから速攻や3ポイントを決める。住道は3ポイントが決まらないが、⑩ドライブなど1対1で得点を取る。

第4PD

白④⑤⑥⑧⑩、黒④⑥⑧⑪⑫ 住道はオールコートゾーンディフェンスを

しかけるが、杉は対応し始める。住道は⑧から⑦の3ポイント、⑩の個人プレーで得点を取り、杉はターンオーバー、速攻、インサイドがよく決まる。前半は両者ともにファウルが多く、リズムがつかみにくかった。後半はオフェンス勝負となり、特徴を生かした杉の勝利となった。

(戦評／四条畷中学校:八重樫)

戦評用紙

平成 27 年度

北河内地区 新人大会

27年 12月 19日 時刻14:30

男子 【決勝】

杉	29	{ 6-18 5-23 7-18 11-15 }	74	桜丘
---	----	---	----	----

第1PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。白⑥のオープニングゴールで始まる。

黒はオールコートマンツーマンを仕掛け、白は④のドリブルを起点に突破をはかる。

④のドライブや、⑧がフリースローをもらうなど応戦したが、黒のディフェンスを破りきれない。

その間に黒は④や⑦、交代で入った⑩などが次々と得点し、6-18で終了。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑦⑩⑬⑯でスタート。2ピリオドでも黒のオールコートマンツーマンを

白は破れない。⑤のスリーポイントや⑤⑧のピックアンドロールなどで一矢報いるも、

黒は白のターンオーバーやミスを突き、⑦⑫を中心に速攻で加点していく。

その後も黒は⑫スリーポイントや④のドライブなどでリードを広げ、11-41で終わる。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑧、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。黒④のスリーポイントから始まる。

黒は④⑦を中心にバランスよく得点を重ね、リードを広げる。白は⑧や⑪がミドルシュートを決めるも

及ばず。その後も黒の厳しいディフェンスに果敢に挑んでいくも18-59で終了。

第4PD

白④⑤⑧⑪⑬、黒④⑤⑥⑦⑧でスタート。黒のオールコートマンツーマンは続き、

選手を細かく交代させつつも、出場したどの選手もディフェンスの手を緩めず、オフェンス面でも

得点に絡んだ。白は得点差に関係なく、⑤のリバウンド、⑧のドライブなど試合を諦めず戦ったが、

相手に隙を見せず、チームプレイを徹底した黒が見事に優勝した。

(戦評/門真市立第三中学校:北田)